

電動式シャッター

取付工事・取扱説明書

形名	適用機種
PS-20SM	羽根径20cmの有圧換気扇
PS-25SM	羽根径25cmの有圧換気扇
PS-25SMT	羽根径25cmの有圧換気扇
PS-30SM	羽根径30cmの有圧換気扇
PS-30SMT	羽根径30cmの有圧換気扇
PS-35SM	羽根径35cmの有圧換気扇
PS-35SMT	羽根径35cmの有圧換気扇
PS-40SM	羽根径40cmの有圧換気扇
PS-40SMT	羽根径40cmの有圧換気扇
PS-50SM	羽根径45cmの有圧換気扇
PS-50SMT	羽根径45・50cmの有圧換気扇
PS-60SMT	羽根径60cmの有圧換気扇
PS-70SMT	羽根径70cmの有圧換気扇
PS-80SMT	羽根径80cmの有圧換気扇
PS-100SMT	羽根径95・100cmの有圧換気扇
PS-105SMT	羽根径105cmの有圧換気扇

形名	適用機種
PS-20SMX	羽根径20cmの有圧換気扇
PS-25SMX	羽根径25cmの有圧換気扇
PS-25SMXT	羽根径25cmの有圧換気扇
PS-30SMX	羽根径30cmの有圧換気扇
PS-30SMXT	羽根径30cmの有圧換気扇
PS-35SMX	羽根径35cmの有圧換気扇
PS-35SMXT	羽根径35cmの有圧換気扇
PS-40SMX	羽根径40cmの有圧換気扇
PS-40SMXT	羽根径40cmの有圧換気扇
PS-50SMX	羽根径45cmの有圧換気扇
PS-50SMXT	羽根径45・50cmの有圧換気扇
PS-60SMXT	羽根径60cmの有圧換気扇

※防爆形・冷凍室形および異電圧品(400-440V)には使用できません。

シャッター単体で取付け、給気口としても使用できます。

(工事店さまへ)

取付工事を始める前に必ずこの説明書をお読みにし、正しく安全に取付けてください。

取付工事は販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。

取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

(お客さまへ)

ご使用前に必ずこの説明書をお読みにし、正しく安全にお使いください。なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

	警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの
	注意 誤った取扱いをしたときに傷害または建物・機械などの損害に結びつくもの

●図記号の意味は、次のとおりです。

	禁止		水ぬれ禁止		風呂、シャワーなどの水場での使用禁止
	分解禁止		指示に従い必ず行う		アース線接続

警告

取付時		●爆発性の粉じんやガスの発生する場所または発生する恐れのある場所には取付けない(爆発や火災の原因になります)
		●メタルス張り、ワイヤス張り、または金属板張りの木造の造営物に製品および製品に接続された金属製ダクトが貫通する場合、製品および金属製ダクトとメタルス、ワイヤス、金属板とが電気的に接触しないよう取付ける(漏電した場合発火することがあります)
		●アースおよび漏電ブレーカを確実に取付ける(故障や漏電のときに感電することがあります)
取付時		●分解・改造はしない(火災・感電・けがの原因になります)分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお問い合わせ窓口にご相談ください
		●製品を水につけたり、水をかけたりしない(ショートや感電の恐れがあります)
		●定格電圧・定格周波数で使用する(定格電圧・定格周波数以外で使用すると火災・感電の原因となります) ●取付けやお手入れの際は必ず分電盤のブレーカを切る(感電やけがをすることがあります)

注意

取付時		●浴室など湿気の多い場所・雨水のかかる屋外では絶対に取付けない(感電や火災の原因になります)
		●本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に(落下によりけがをすることがあります) ●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に(接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります)
		●取付けやお手入れの際は手袋を着用する(けがをすることがあります)
使用時		●長期間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカを切る(絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因になります)

取付け前のお願い

- 取付場所が悪いと故障の原因になります。次のような場所には取付けないでください。
 - ・モータ部分に直接雨水のかかる場所
 - ・使用温度範囲(-10℃～+50℃)を超える場所、および相対湿度90%(常温)を超える場所
 - ・水結する恐れのある場所
 - ・厨房など油煙の多い場所や水蒸気の多く発生する場所
 - ・腐食性ガスをフード・ダクトなどで局所排気する場所
 - ・養鶏・養豚場のようなほこりの多い場所
- ※強酸・強アルカリ性の腐食性ガスが発生する場所への設置は寿命が短くなる場合があります
- モータは短時間定格ですので、短い間隔で連続してシャッターを開閉させないでください。(30分以上間隔をおいてください。但し10回程度の連続開閉は支障ありません)
- PS-70-80-100-105SMTを有圧換気扇と組合わせて給気使用の場合は、遅延リレー(市販品)を用いて、シャッターが開いた後約5秒以上遅れて有圧換気扇が起動するようにしてください。(有圧換気扇の風圧により、シャッターが開かないことがあります)
- 直接雨水が当たる場所では、必ずウェザーカバーをご使用ください。
- 給気形有圧換気扇のシャッターや給気口のシャッターとして使用する場合は、ウェザーカバーを設けても、雨が当たっていると雨水を吸い込むことがあります。雨の当たらない場所に設置するか、万一雨水を吸い込んでも支障のない場所に設置してください。

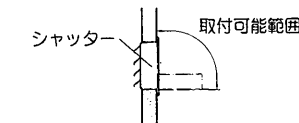


図1. 給気用アタッチメントを使用する場合

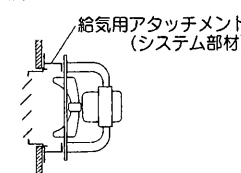
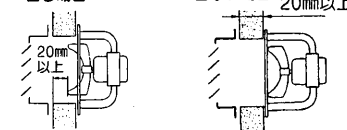


図2. 羽根が取付面から出る場合 図3. 羽根が取付面から出ない場合



外形寸法図参照

外形寸法図参照

- シャッターは、取付面が垂直から下側になる範囲で取付けてください。ただし、雨水を吸い込む恐れのある場所では、取付面は垂直としてください。
- エクストラグレード有圧換気扇を給気で使用する場合のシャッターの取付けは、図1のようにシステム部材の給気用アタッチメントを使用すると簡単です。給気用アタッチメントをご使用にならない場合は、壁外付けで、図2、図3のように取付けてください。
※有圧換気扇を給気で使用の場合は、まとめてきません。
- 防火ダンパー付ウェザーカバーを使用する場合は、左図のように取付け、ダンパーとシャッターブレードが当たらないように外形寸法図のG寸法以上の壁またはスペーサをはさんで取付けてください。
- 取付後シャッターが確実に開閉するか、振動や異常音がないか試運転をしてください。

